

2019/7/29

〔ナマステ別館〕堂の主人



ろくすっぽお客さんの来ない、カリーレストラン「ナマステ エブリバディ」のお隣、ナマステ別館ですが、たまにお食事をするでもなく、ドリンクをお飲みになるでもないお客様が結構、ふらり、ふらりとお越しになります。

団地再生機構のエージェントの方だったり、タウン誌の記者さんだったり、新聞屋さん、お弁当屋さんや退職された方々など、来られると大体小半時くらいは、よもやま話をしていかれます。

今日は、目の前の通りに車を止めて道を聞いてこられた方が、折り返してきて立ち寄って行かれました。

聞かれたのは近くにある「うさぎ専門店」の場所でした。

珍しいお店なので、飼っているウサギのトリミングにわざわざ高津区から来られたとか。で、その方がスマホの中にとってある「うさちゃん」の写真を見せるからと（ウサギはトリミングでお店に預けてあったので）スマホを取り出し、その写真を探し始めたまではよかったのですが、何を思われたのか、突然電話をし始め、きくともなく聞いているとなんと「借金を取り立て」だったのです。

スマホを握っている手元を見ると約一本指がありません。

「えっ、なんやの？何話してはるの？えっ、こんな話聞いたって、ええのん？ヤバないの？」
兎に角世の中にはいろんな方がいらっしゃいます。

しかし、そうした方々に門戸を開放して、得になるのか損になるのかわかりもしない話を聞いて楽しむ。

自分は本来、そういうことをしたかっただけなのかもしれないのかなあ？と、ふと思いました。

でなければ、ろくすっぽお客さんも来ない開店休業状態がもう一年半も続いていて、丸々大損もいいとこの、こんなお店を続けられるわけがありませんし。

多分自分は、この「ナマステ別館」堂の主人役が、大層、気に入っているのだろくなあと
思いました。